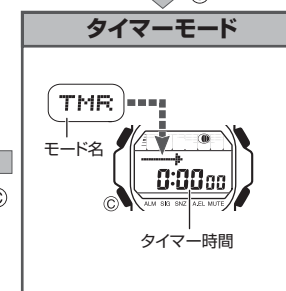
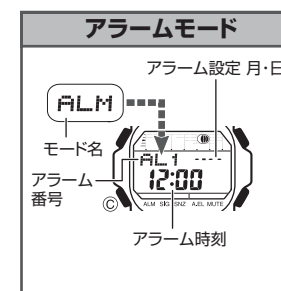
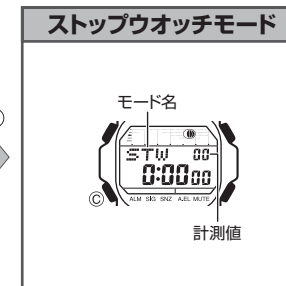
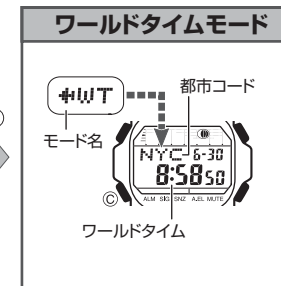
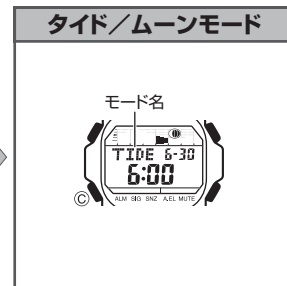
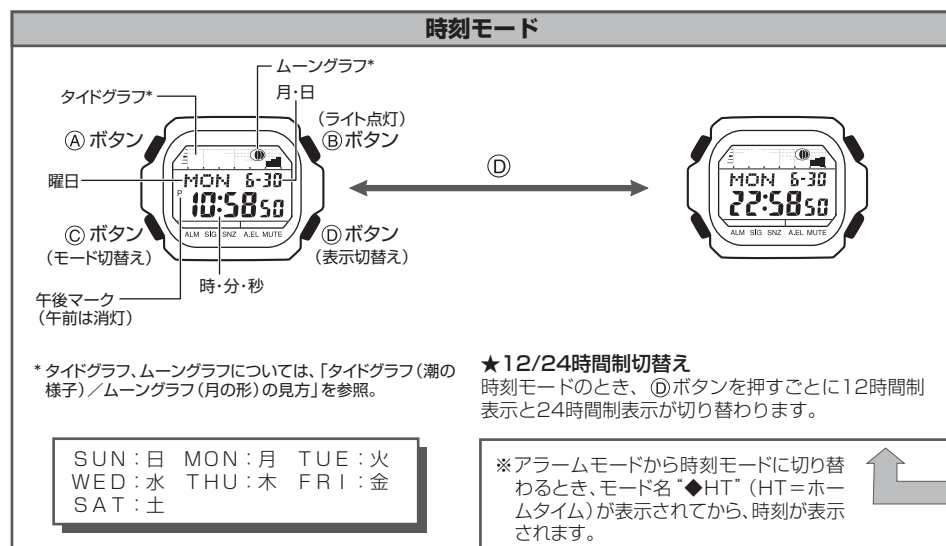
操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※タイド／ムーンモード、アラームモードで２～３分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードになります。

* タイドグラフ、ムーングラフについては、「タイドグラフ（潮の様子）／ムーングラフ（月の形）の見方」を参照。

★12/24時間制切替え
時刻モードのとき、Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。

SUN：日　MON：月　TUE：火
WED：水　THU：木　FRI：金
SAT：土

※アラームモードから時刻モードに切り替わるとき、モード名“◆HT”（HT＝ホームタイム）が表示されてから、時刻が表示されます。

電子音の報音に合わせてライトを点滅させる

アラーム・時報、タイマーのタイムアップ音、ストップウオッチのオートスタート音に連動して、ライトを点滅させることができます。

■ON／OFF設定

ON／OFFの切替えは、時刻モードで行ないます。

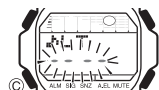
1. セット状態にする
時刻モードのとき

Ⓐボタンを約１秒間押し続けます

➟「秒」が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2.「報音とライトの連動」設定を選ぶ

Ⓒボタンを８回押します

➟「♪LT」が点灯し、「----」または「SYNC」が点滅します。

3. ON／OFFを切り替える

Ⓓボタンを押します

➟Ⓓボタンを押すごとにON“SYNC”とOFF“----”が切り替わります。

4. セットを終わる

Ⓐボタンを2回押します

➟点滅が止まり、セット完了です。

★ONに設定しているときは、ストップウオッチモード、タイマーモード、アラームモードに切り替えると、１秒間「SYNC」が表示されてから各モードの表示になります。

操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

■操作音のON／OFF設定

「セット中（表示点滅）」や「アラームなどの電子音が鳴っているとき」以外の、どのモードのときでも

Ⓒボタンを約３秒間押し続けます

➟確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。
※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。
※Ⓒボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。
※操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音、ストップウオッチのオートスタート音は鳴ります。

CASIO

ライト点灯について

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときにライトを点灯させて時刻を見ることができます。また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して点灯させる
～手動点灯～

「セット中（表示点滅）」以外の、どのモードのときでも

Ⓑボタンを押します

➟Ⓑボタンを押すとライトが点灯します。

※点灯時間は約1.5秒間と約3秒間のいずれかを選ぶことができます（「ライト点灯時間の切替え」参照）。

※ オートライトOFFのときもⒷボタンを押すと点灯します。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■時計を傾けて点灯させる
～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても時計を傾けるだけでライトが点灯する便利な機能です。
暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけでライトが約1.5秒間または約3秒間点灯します。

準備：時刻モードのとき、Ⓑボタンを約3秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。

オートライトONマーク

※オートライトONのとき、時刻モードでⒷボタンを約3秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる

※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。

〈ご注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、オートライトONにしてから約6時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライトOFFになります。

※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度時刻モードでⒷボタンを約3秒間押し続けてオートライトONマークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約1.5秒間または約3秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

■ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

秒

➟「秒」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 点灯時間を選ぶ

Ⓑボタンを押します

➟Ⓑボタンを押すごとに約1.5秒間と約3秒間が切り替わります。

※ ✧マーク＝約1.5秒間
☀マーク＝約3秒間

3. セットを終わる

Ⓐボタンを2回押します

➟点滅が止まり、セット完了です。

タイドグラフ（潮の様子）／ムーングラフ（月の形）の見方

タイドグラフ、ムーングラフは、使用する場所のデータ（時差・経度・月潮間隔）や日時などから「潮の様子」や「月の形」を算出して表示します。ご使用の前に「使用場所のセット」をご覧になり、あらかじめ使用する場所のデータ（時差・経度・月潮間隔）をセットしてください。

※ 工場出荷時は「使用場所＝東京（時差＋9.0、経度140°E）、月潮間隔＝5時間20分」にセットされています。

ご注意

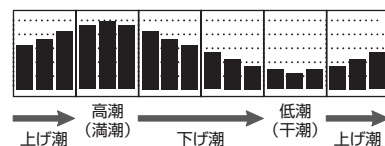
本機で表示される情報は、航海の用に供するものではありません。航海には必ず海上保安庁刊行の潮汐表を使用してください。
本機のタイドグラフ表示は、あくまで潮の満ち干きの様子を見る"目安"としてお使いください。

■「現在時刻のタイドグラフ」や「今日のムーングラフ」を見る

時刻モードで確認することができます。

●現在のタイドグラフを見る ～（潮の様子）～

時刻モードのとき、現在時刻（時刻モードの時刻）のタイドグラフが表示されます。

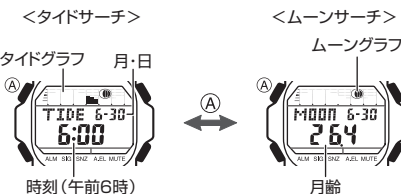
※本機のタイドグラフ表示は以下のように６つの部分で「潮の様子」を表わします。

●今日のムーングラフを見る ～（月の形）～

時刻モードのとき、今日（時刻モードの日付）の正午時のムーングラフが表示されます。

※ムーングラフが示す月の形は、点灯している部分が「月の影」で、点灯していない部分が「月の形＝見える形」です。（「月齢表示の見方」参照）

ムーングラフ
MON 6-30
10:58 50

■調べたい日や調べたい時間のグラフを確認する

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押して、タイド／ムーンモードにします。
タイド／ムーンモードに切り替えると、タイドサーチまたはムーンサーチとなります。

※タイドサーチまたはムーンサーチは前回見た方が最初に表示されます。

※タイド／ムーンモードではⒶボタンを押すごとにタイドサーチとムーンサーチが切り替わります。

※タイドサーチに切り替えたときは、「今日（時刻モードの日付）」の「午前６時」の状態を表示します。

●当日（時刻モードの日付）の各正時（00分）のタイドグラフを見る

タイドサーチを表示しているときに

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに１時間ずつ進みます。

※ Ⓓボタンを押し続けると早送りができます。

●日にちを送って探す

1. ムーンサーチにする

Ⓐボタンを押します

2. 日にちを探す

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに１日ずつ進みます。

※ 選んでいる日にちの月齢とムーングラフが表示されます。

※ Ⓓボタンを押し続けると早送りができます。

※ 2000年１月１日～2099年12月31日までのサーチができます。

MOON 7-1
27.4

3. タイドグラフを見るときは…

4. 時刻を探す

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに１時間ずつ進みます。

※ 選んでいる日時のタイドグラフが表示されます。

※ Ⓓボタンを押し続けると早送りができます。

※ *2.* で指定した日にちの中でのみ探すことができます。

TIDE 7-1
7:00

●日にちを指定して探す

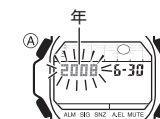
1. セット状態にする

タイド／ムーンモードのとき

Ⓐボタンを約１秒間押し続けます

➡サーチ方法が切り替わった後、年が点滅します。

※ セット状態で２～３分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

年
2008 6-30

2. セット箇所を切り替える

ⓒボタンを押します

➡点滅箇所が以下の順で切り替わります。

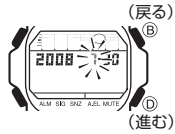
※ 点滅箇所がセットできます。

CASIO

3. 点滅箇所をセットする

Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押します

➟Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 つずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。

手順 *2.*〜 *3.* の操作を繰り返して、年・月・日をセットします。

※セットは 2000 年 1 月 1 日〜2099 年 12 月 31 日まででできます。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟点滅が止まり、セット完了です。

★サーチ方法を切り替えるときは・・・

Ⓐボタンを押すごとにタイドサーチとムーンサーチが切り替わります。

★タイドサーチのときは・・・

Ⓓ ボタンを押すごとに 1 時間ずつ進みます。
※ 選んでいる日時のタイドグラフが表示されます。
※ Ⓓ ボタンを押し続けると早送りができます。
※ 指定した日にちの中でのみ探すことができます。

★ムーンサーチのときは・・・

Ⓓ ボタンを押すごとに 1 日ずつ進みます。
※ 選んでいる日にちの月齢とムーングラフが表示されます。
※ Ⓓ ボタンを押し続けると早送りができます。
※ 2000 年 1 月 1 日〜2099 年 12 月 31 日までのサーチができます。

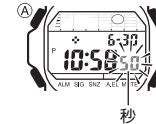
■使用場所のセット

●使用場所のセットは、一度行なえば再びセットする必要はありません。ただし、引っ越しや旅行などで大きく移動したときは、その場所に合わせてセットしなおしてください。
●工場出荷時は「使用場所＝東京（時差＋ 9.0、経度 140°E)、月潮間隔＝ 5 時間 20 分」にセットされています。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

➟秒が点滅します。
※ セット状態で 2 〜 3 分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 時差のセットに切り替える

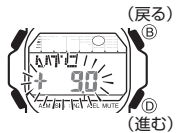
Ⓒ ボタンを 2 回押します

➟時差が点滅します。

※ 時差については「都市コード一覧」をご覧ください。
※ UTC=Coordinated Universal Time（協定世界時）

3. 「協定世界時（UTC)」との時差をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➟Ⓓ ボタンを押すごとに 0.5 時間ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 0.5 時間ずつ戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。
※ 時差は 0.5 時間単位で− 12.0 〜 +0.0 〜 +14.0 時間までセットできます。
※ サマータイム（DST）のON/OFF にご注意ください。
　＊ サマータイム（DST）については「サマータイム（DST）について」参照。

4. 経度をセットする

Ⓐ ボタンを押します

➟経度値が点滅します。

5. 経度と月潮間隔の設定

Ⓒ ボタンを押します

➟点滅箇所が以下の順で切り替わります。
※ 点滅箇所がセットできます。

※ 経度をセットするときは、「日本の経度」を、月潮間隔をセットするときは「月潮間隔一覧表」を参照してください。

6. 経度と月潮間隔をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

★経度値をセットするときは・・・

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➟Ⓓ ボタンを押すごとに 1 度ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 度ずつ戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。
※ 経度値は 1°単位で 0 〜 180°までセットできます。
　1°未満の端数は丸めて入力してください。
　例）50°40’＝ 51°
※ LONG=Longitude（経度）

★経度方向をセットするときは・・・

Ⓓ ボタンを押します

➟Ⓓ ボタンを押すごとに E（東経）とW（西経）が切り替わります。

★月潮間隔をセットするときは・・・

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➟Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 つずつ戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。
※ INT=Lunitidal Interval（月潮間隔）

手順 *5.*〜 *6.* のの操作を繰り返して、経度と月潮間隔をセットします。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟点滅が止まり、セット完了です。

■参考

●月齢表示の見方

月の形	新月		上弦		満月
月齢	0.0〜1.8	1.9〜5.5	5.6〜9.2	9.3〜12.9	13.0〜16.6
表示					

月の形		下弦		新月
月齢	16.7〜20.2	20.3〜23.9	24.0〜27.6	27.7〜29.5
表示				

●ムーングラフが示す月の形は、点灯している部分が「月の影」で、点灯していない部分が「月の形＝見える形」です。

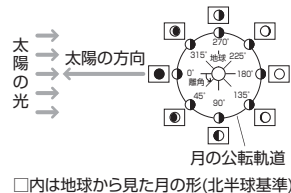
●月の形は表示日の「正午」において、北半球を基準として月を南向きに見上げたときのおおよその形です。
　※ 月の左右どちらが欠けているかのみを表現するものであり、実際に見える月の形とは異なります。なお、南半球や赤道付近で北寄りに月が見えるときは左右逆に見えます。
●月の形は、時刻･カレンダーおよび使用場所を正しくセットしておかないと正しく表示されませんのでご注意ください。

CASIO

●月の満ち欠けと月齢

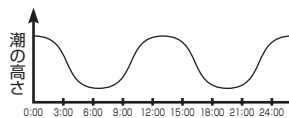
月は約 29.53 日の周期で満ち欠けを繰り返します。これは月の公転により地球と太陽に対する月の位置(月の離角)が少しずつずれることで、地球から見た月の影の見え方が変わるためです。
なお、月の満ち欠けや月相のことを天文用語では「月の盈虚（えいきょ）」といいます。

※月齢…新月(朔：さく)からの経過時間を日数で表わしたもの。
※月の離角…地球から見て太陽の見える方向からの角度

□内は地球から見た月の形(北半球基準)

月の満ち欠け	月の離角	月齢
新月（朔:さく）	0°	0.0日
上弦	90°	約7.4日
満月（望:ぼう）	180°	約14.8日
下弦	270°	約22.1日

※なお、本機は月の平均朔望周期(29.53日）を利用した計算法で算出しているため、実際の月齢との誤差は± 1 日になることがあります。

●タイド（潮汐）とは

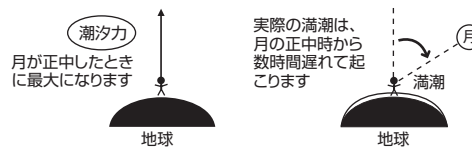
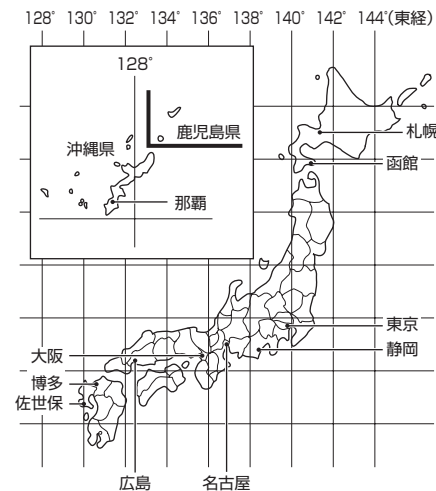
地球上の海面は、約６時間ごとに高くなったり、低くなったりする昇降運動を繰り返しています。
これは、潮汐（ちょうせき）と呼ばれ、主に月の引力に作用されて起こる現象です。

●本機のタイドグラフは

本機は、月の正中時間と月潮間隔から、潮の満ち干きの様子をグラフ表示（＝タイドグラフ）します。地域（港）により月潮間隔が異なるため、あらかじめその時間（＝月潮間隔）を本機に設定しておく必要があります。地域ごとの月潮間隔は「月潮間隔一覧表」を参照してください。

※なお、日本海側および半月（小潮）のときは、潮汐現象がはっきり現れないため、誤差が大きくなります。

●月潮間隔について

理論上では、月が正中したとき（下図左）に高潮（満潮）になり、その約６時間後に低潮（干潮）になるといわれています。ただし、実際の地球上では、海水の粘性や摩擦、海底の地形などの影響によって正中時より遅れて高潮になります（下図右）。この時間差を「月潮間隔」と呼びます。

月が正中後、高潮になるまでの時間差を「高潮間隔」、低潮になるまでの時間差を「低潮間隔」と呼び、この２つを総称して「月潮間隔」といいます。
「月潮間隔」は同じ日本国内でも地域（港）により異なります。
なお、それぞれの地域で長期間にわたって調査した「高潮間隔」の平均値を「平均高潮間隔」といいます。

●日本の経度

●月潮間隔一覧表

～日本の港における平均高潮間隔～

この表の使い方

本機を使用する場所（港）を探し、その場所に一番近い地域の月潮間隔を読み取り、その時間を本機に入力すると、その場所でのタイドグラフを表示できます。

地　域	地(港)名	平均高潮間隔 時　分
北海道北岸	紋別*	3:04
北海道西岸	稚内*	3:59
	留萌*	4:23
	小樽*	4:10
北海道南岸	函館	3:46
	室蘭	3:37
	苫小牧	3:39
	浦河	3:41
	釧路	3:39
本州北岸	青森	3:32
	大湊	3:44
本州東岸	八戸	3:37
	釜石	3:53
	塩釜／港橋	4:04
	小名浜	4:15
	鹿島	4:23
本州南岸	南伊豆(小稲)	5:36
	清水	5:47
	衣浦／武豊	6:04
	名古屋	6:09
	四日市	6:05
	尾鷲	5:54
	串本	6:02
	田辺	5:58

地　域	地(港)名	平均高潮間隔 時　分
東 京 湾	千葉灯標	5:15
	東京／芝浦	5:18
	横浜／新山下	5:18
	横須賀	5:15
瀬戸内海	和歌山	6:29
	小松島	6:13
	大阪	7:25
	神戸	7:28
	姫路／飾磨*	11:08
	宇野	11:10
	高松	11:15
	水島	11:18
	尾道	11:03
	新居浜	11:01
	広島	9:36
	呉	9:38
	松山	9:07
	大分／鶴崎	8:22
	苅田	8:53
	徳山	8:41
	宇部	8:49
	下関／壇の浦	8:58
	門司／旧門司	8:57
	八幡	9:52

地　域	地(港)名	平均高潮間隔 時　分
四国南岸	高知	5:59
豊後水道	宇和島	7:15
南方諸島	八丈島／神湊	5:28
	父島／二見	6:27
本州北西岸	浜田	12:11
	境	2:20
	舞鶴／第１区	2:27
	富山	2:50
	新潟／西区	3:02
	秋田	3:16
九州北岸	博多／東浜新ふ頭	9:36
	唐津	9:22
	対馬／厳原	8:42
九州西岸	佐世保	8:17
	長崎／松ヶ枝	7:55
	三池	8:50
	三角	8:42
九州南岸	鹿児島	7:05
九州東岸	油津	6:01
	細島	6:06
南西諸島	奄美大島／名瀬	6:49
	那覇	6:50

※上記の表は、高潮と低潮が1日2回ずつおきるときの月潮間隔を記載しています。ただし、*印のついた地域は、高潮と低潮の間隔にばらつきがあるため、季節により高潮と低潮が1日1回ずつしか起きないことがあります。このような時期では、本機のタイドグラフと実際の潮汐現象とが大きく異なりますのでご注意ください。

出典：海上保安庁「書誌第781号　平成10年　潮汐表　第1巻　日本及びその付近」
水路図誌利用「海上保安庁図誌利用　第100043号」

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン（48都市）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。
※時刻モードで基本時刻（ホームタイム）および時差をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓボタンを押します

➟Ⓓボタンを押すごとに「都市コード」が1つずつ進みます。
※Ⓓボタンを押し続けると早送りします。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムの設定

1. ワールドタイムモードのとき、Ⓓボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

2. **Ⓐボタンを約1秒間押し続けます**

➟DSTマークが点灯して、サマータイム設定*になります。
* サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。

Ⓐ NYC 6-30 9:58 DST
DSTマーク

※DSTマークが点灯しているときに、Ⓐボタンを約1秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。
※各都市ごとにサマータイムの設定ができます。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	LON	+0	ロンドン	KHI	+5	カラチ
HNL	−10	ホノルル	BCN	+1	バルセロナ	MLE	+5	マーレ
ANC	−9	アンカレジ	PAR	+1	パリ	DEL	+5.5	デリー
YVR	−8	バンクーバー	MIL	+1	ミラノ	DAC	+6	ダッカ
SFO	−8	サンフランシスコ	ROM	+1	ローマ	RGN	+6.5	ヤンゴン
LAX	−8	ロサンゼルス	BER	+1	ベルリン	BKK	+7	バンコク
DEN	−7	デンバー	ATH	+2	アテネ	SIN	+8	シンガポール
MEX	−6	メキシコシティ	JNB	+2	ヨハネスブルグ	HKG	+8	香港
CHI	−6	シカゴ	IST	+2	イスタンブール	BJS	+8	北京
MIA	−5	マイアミ	CAI	+2	カイロ	SEL	+9	ソウル
NYC	−5	ニューヨーク	JRS	+2	エルサレム	TYO	+9	東京
CCS	−4	カラカス	MOW	+3	モスクワ	ADL	+9.5	アデレード
YYT	−3.5	セントジョンズ	JED	+3	ジェッダ	GUM	+10	グアム
RIO	−3	リオデジャネイロ	THR	+3.5	テヘラン	SYD	+10	シドニー
RAI	−1	プライア	DXB	+4	ドバイ	NOU	+11	ヌーメア
LIS	+0	リスボン	KBL	+4.5	カブール	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2006年12月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

ストップウオッチの使い方

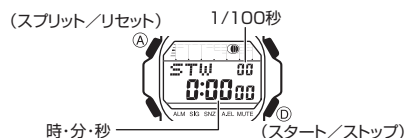
「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓボタンを押します

➟Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（“SPL”表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

<積算計測>
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

<スプリット表示中>
“SPL”表示
スプリット解除
Ⓐ SPL 12 0:02 19

●1・2着同時計測

■オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート（計測開始）の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知するものです。

●オートスタート表示にするには

計測リセット状態のとき、Ⓐボタンを押します

➟Ⓐボタンを押すごとに通常表示とオートスタート表示とが切り替わります。

<オートスタート表示>

●オートスタートで計測を開始する

オートスタート表示のとき、Ⓓボタンを押します

➟5秒前からのカウントダウンを始めます。3秒前からは1秒ごとに電子音が鳴ります。
※カウントダウンを中止し即スタートするときは、Ⓓボタンを押します。
※計測開始後は、通常のストップウオッチのボタン操作と同様になります。
※計測を終了してリセットをすると、オートスタートも解除されます。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマー時間は分単位で24時間までセットすることができ、1秒単位で減算計測を行ないます。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

* タイマー方法の選び方については「タイマーのセット」参照。

●リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。

■ 電子音の報音について

本機のタイマーは以下のように電子音が鳴ります。

* 予告音の ON ／ OFF 設定については「タイマーのセット」参照。

●予告音 ON に設定したときは

残り時間5分10秒～5分のとき	1秒ごとに電子音が鳴ります。
残り時間4分～1分のとき	1分ごとに電子音が鳴ります。
残り時間30秒	電子音が1秒鳴ります。
残り時間10秒～0秒（タイムアップ）	1秒ごとに電子音が鳴ります。

※セットした時間が5分以下のときは途中から鳴ります。

●予告音 OFF に設定したときは

セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。
※電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマーのセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

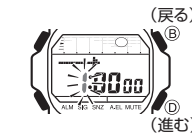
➟タイマー時間の「時」が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

タイマー時間（時）

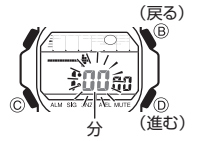
2. 「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➟ Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ 1分単位で24時間までセットできます。
※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0：00”にします。

（戻る）Ⓑ　Ⓓ（進む）

3. 「分」をセットする

Ⓒボタンを押します

➟「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様にⒹまたはⒷ ボタンでセットします。

4. タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➟Ⓓ ボタンを押すごとにリピートタイマー“⟶”とオートリピートタイマー“⊏⊐”が切り替わります。

5. 予告音の ON ／ OFF を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➟Ⓓボタンを押すごとにON／OFFが切り替わります。
※ ♪ ON ＝予告音 ON
　♪ OFF ＝予告音 OFF

6. セットを終わる

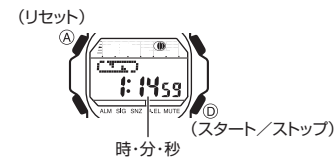
Ⓐ ボタンを押します

➟点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➟Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は1秒単位で行ないます。

★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

■アラームについて

●通常アラーム（AL1 ～ AL2）

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（SNZ）

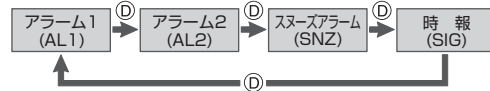
設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。
なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

■アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➟ Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

➟「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

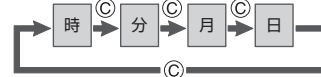
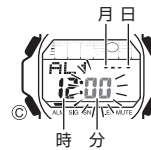
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

時
Ⓐ
アラームマーク

3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➟ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

月 日
Ⓒ
時 分

4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➟ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※「月・日」をセットしないときは、“-”または“- -”を表示させます。

手順*3.*～*4.*の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

※「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。
- 毎日鳴らす➞「時・分」のみセット
- 1ヵ月間毎日鳴らす➞「月・時・分」のみセット
- 毎月同じ日に鳴らす➞「日・時・分」のみセット
- 指定月日に鳴らす➞「月・日・時・分」すべてセット

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟ 点滅が止まり、セット完了です。

■アラームの ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➟ Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームの ON ／ OFF が切り替わります。

※アラームマークが点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

<アラーム1表示>

アラームマーク

<スヌーズアラーム表示>

アラームマーク
スヌーズマーク

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。

※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行なうと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
- ●スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
- ●スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
- ●時刻モードでセット状態にしたとき。

■モニターアラーム

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

■時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

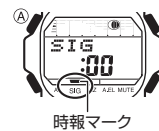
■時報の ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➟ Ⓐ ボタンを押すごとに、時報の ON ／ OFF が切り替わります。

※時報マークが点灯しているときが ON となり、時報が鳴ります。

<時報表示>

時報マーク

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

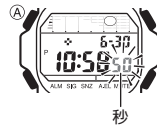
■時刻・カレンダーの合わせ方（ホームタイムの設定）

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

➟「秒」が点滅します。

※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 秒合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します

➟「00 秒」からスタートします。

※ 秒が00〜29のときは切り捨てられ、30〜59のときは 1 分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

3. サマータイム（DST）の ON ／ OFF を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

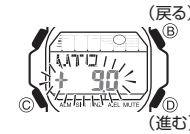
➟Ⓓボタンを押すごとにON／OFF が切り替わります。

※ OFF ＝サマータイムOFF（通常時間）
On ＝サマータイムON（夏時間）
＊ サマータイム（DST）については「サマータイム（DST）について」参照。

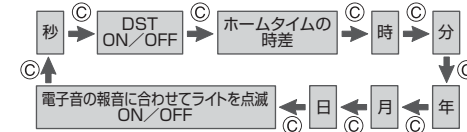
4. 「時計を使用する地域の時刻（ホームタイム）」と「協定世界時（UTC）」との時差を設定する

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➟Ⓓボタンを押すごとに「時差」が 0.5 時間ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。
※ 時差を設定してから、時刻セットを行なってください。

5. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

➟Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

b. **Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します**

➟Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順a.〜b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P)、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000年〜2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

6. セットを終わる

Ⓐ ボタンを２回押します

➟点滅が止まり、セット完了です。